

第34回例会

通算第 1269 回例会 2026 年 5 月 20 日(水)

12:30~13:30 郡山ビューホテルアネックス

- ▶ 開会点鐘
- ▶ ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱
- ▶ 四つのテスト唱和:寺山幸徳さん
- ▶ ゲスト:福島県骨髄バンク推進連絡協議会
郡山支部 代表 坂本豊和様・奥様

▶ 宮崎登志行 会長 挨拶

昨日は福島県が全国第2位の真夏日を記録したそうで、今日も30度超えの暑い日になっておりますが、明日からは雨模様で気温がぐっと下がるそうです。気温の変化が激しいと熱中症になりやすいそうですので、体調管理に十分注意をして過ごしていただきたいと思います。

▶ 骨髄バンクへのチャリティ寄贈:土屋繁之 30 周年実行委員長

創立 30 周年記念事業のひとつとしてゴルフコンペを開催しました。参加されたロータリアンからチャリティとして寄付を頂戴しましたので、お渡ししたいと思います。

▶ 福島県骨髄バンク推進連絡協議会 郡山支部 代表 坂本豊和様
郡山アーバンコスモス RC の皆様方には日頃から大変お世話になっております。また、先日は 30 周年記念にお招きいただきまして誠にありがとうございました。その他にもこのような高額のご寄付をいただきまして、重ねて御礼申し上げます。今後の活動に有効に使わせていただきます。本当にありがとうございました。

▶ 福島県骨髄バンク推進連絡協議会 郡山支部 坂本あけみ様

いつも骨髄バンクをご支援いただきましてありがとうございます。息子が病気になって初めて骨髄バンクの活動を知りましたことがきっかけで、活動させていただいて早くも 35 年ぐらいになります。これからもまだ一生懸命頑張っていこうかなと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



▶ スマイルBOX報告:増渡邊万里子 幹事

土屋繁之さん、吉成 進さん、宮崎登志行会長、味戸誠一郎さん、佐藤功一さん、滝田幸子さん、鈴木かおるさん、牧野節子さん、平原 憲さん、寺山幸徳さんからいただきました。

▶ 出席報告:渡邊万里子 幹事

会員数 43 名、出席 15 名、欠席 28 名、出席率 34%です。

▶ 幹事報告:渡邊万里子 幹事

骨髄バンク様より皆様にクリアファイルとティッシュを頂戴いたしました。明日の郡山南 RC 創立 55 周年記念式典に当クラブから 5 名参加されます。今週土曜日の郡山 RC 創立 90 周年記念式典・祝賀会には会長幹事が出席します。

金田昇ガバナーエレクトから全会員にクラブ満足度アンケートのお願いが来ております。QR コードでご回答ください。

プログラム:クラブ協議会 次年度計画

▶ 寺山幸徳 会長エレクト



先日のクラブリーダーシップラーニングセミナーに参加していただいた皆様、朝から 1 日お疲れ様でした。以前の地区研修協議会がクラブリーダーシップラーニングセミナー、会長エレクトトレーニングセミナーが会長エレクトトレーニングセミナーとなりました。以前は略して PETS と呼んでいたものが、トレーニングからラーニングになったことにより PELS となっております。次年度計画については、次年度理事の方々と共に密に相談し、魅力ある例会づくり、出席率向上の 2 点に重点を置いて 1 年間取り組んでいきたいと考えております。まず魅力ある例会づくりについて私が考えたのは、定着化した座席の見直しです。気心の知れた人同士で座りたくなる気持ちには十分に分かります。居心地も良いと思いますが、せっかく異業種を代表するプロフェッショナルの方々と交流できる例会に出席しているのに、もったいないと思います。合併して 2 年半になるにもかかわらず、まだ話したことがない、職業を知らないという会員もいるのではないのでしょうか。例会の場を活用するために、次年度の例会では、くじなどで座席を決め、いろいろな会員と接触できるようにしたいと考えております。全会員に楽しんでいただける参加型の卓話など、魅力あるプログラムを取り込んでいきたいと考えております。多種多様な業種の会員が揃っていますので、有意義で充実した例会を提供したいと思ひ、今まさに次年度のプログラムを組んでいる最中です。皆様のお考えをお伝えいただき、理事会にあげて、できる限り実現したいと考えております。出席率向上については、いろいろな理由で出席が難しい会員も

いると思いますので、Zoom や Teams などを使ってウェブ上で参加できるようにすれば、休会されている会員の復帰できる環境づくりにもなるのではないのでしょうか。私が思うロータリーの良さとは、会員がお互いに学ぶことだと思います。全会員の皆様と一丸となって楽しみたいと考えております。私が掲げた計画は、私が 2019 年 7 月に入会した頃に土屋理事長が卓話で話された内容の引用です。7 年ほど経ってようやく理解でき始めたように感じております。この 2 点だけを実施することができれば、会員増強、退会者防止につながるのではないのでしょうか。どうぞ皆様、7 月から 1 年間よろしくお願いいたします。

まだ時間がありますので、次年度の RI 会長メッセージおよび次年度ガバナー方針を発表させていただきたいと思っております。次年度の RI 会長はナイジェリアの方で、オンライン・ハキム・ババロラさんです。メッセージは「Create Lasting Impact」「持続可能なインパクトを生み出そう」で、「真のインパクトとは、一時的な成果ではなく、世代を超えて続く変化であり、そのためには地域とともに考え、行動し、包摂的に人を迎える姿勢が不可欠なのです。ロータリーの成長は、他クラブとの競争ではなく、過去の自分たちを超える挑戦から生まれます」と話されておりました。

次年度の RI 第 2530 地区ガバナーは白河西 RC の金田昇さんで、地区運営方針を「連携と連帯で、持続可能なインパクトを生み出そう」とされ、①持続可能なインパクトを意識する ②クラブや地区の枠を超えた連携を実践する ③クラブ間の連帯を実践するがポイントです。重点施策として、1. 会員基盤の維持強化 ①会員増強の地区目標は会員数 2200 名、女性会員 220 名(10%以上)、退会防止のための施策を計画・実施。会員増強に関する情報交換の仕組みづくり ②地区各委員会との連携。会員増強セミナー等の積極的活用。新会員向けオリエンテーションの実施 ③RLI 委員会との連携による人材育成の加速化と強化。会員資質の向上および地区・クラブのリーダー育成のために RLI 委員会の活性化とセミナーへの参加促進を図る。2. 社会・国際奉仕活動の活性化 ①受益者のニーズに即した奉仕活動の実施 ②各種セミナー受講による情報収集とスキルの向上 ③補助金の積極的活用。3. クラブ奉仕によるクラブ活性化 ①親睦活動やクラブ機能の充実による活性化 ②会員増強目標の設定と実行による基盤強化。4. 公共イメージ向上活動 ①YouTube や SNS を活用した情報発信の促進 ②公共イメージ向上のための施策。5. 青少年奉仕活動 ①インターアクト: スポンサークラブとの連携協力による協働活動の推進 ②RYLA: ローターアクトとの連携による事業の活性化と参加者募集の推進 ③青少年交換: 継続的な派遣事業の展開と拡大(目標 2~4 名)。6. ローターアクト及び学友委員会活動 ①ローターアクト委員会: ローターアクトクラブ活動の支援と会員拡大への助言と協力 ②学友委員会: 後半な学友の情報収集と組織化の推進。7. ローター財団の理解促進と活用 ①財団の使命の理解促進と会員拡大への助言と協力 ②学友委員会: 広範な学友の情報収集と組織化の推進。7. ローター財団の理解促進と活用 ①財団の使命の理解促進と活動参加 世界ポリ

オデーへの全参加 ②補助金プログラム 地区補助金: 各クラブの独自性と地域ニーズを重視。グローバル補助金: 複数クラブ・複数国による連携事業の推進 ③寄付推進。年次基金 1 人 150 ドル、ポリオプラス 1 人 30 ドル、ポールハリスソサエティ 100 名、ポリオプラスソサエティ 150 名、寄付ゼロクラブゼロ、ロータリーカード加入促進。8. 米山記念奨学会 ①奨学生とクラブの関係強化による理解と寄付の向上 ②普通寄付 1 人 5000 円、特別寄付 1 人 1 万円 ③寄付ゼロクラブゼロ。9. マイロータリーの積極活用 登録率 100% を目指し、クラブへの情報発信を強化 ①ラーニングセンターの活用 クラブ役職者のスキル向上 新会員オリエンテーションの活用 ②クラブセントラルの活用 会長エレクトによる目標設定・入力 進捗管理によるクラブ運営の可視化 ③ロータリー賞への挑戦 必要事項を適切に入力し、認定取得を目指す。「2530 地区内 58 クラブは 1 つのチームです。ロータリーの未来に向けたインパクトを創出していきましょう。仲間とともにロータリーを愉しもう」ということでした。

平原憲さん: プログラムについては参加型や日帰りのバス旅行など、いろいろ考えております。何かアイデアがありましたら、検討していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

牧野節子さん: 入会してまだ日が浅く、わからないことばかりですので、楽しい例会にぜひ出席したいと思っております。

津野順子さん: 親睦がもっと深まる例会に、皆さんに積極的に参加していただきたいと思います。

土屋繁之さん: 寺山会長エレクトの熱い思いを聞かせていただきました。いろんな人と出会えるチャンスがあるのがロータリーであり、皆さんそれぞれがいろんな考えを持って仕事に邁進している方たちですので、お付き合いすることによっていろんなヒントを間違いなくいただけると思っています。例会で会員の皆さんのお友達あるいは知り合いの方たちに積極的に例会でお話をさせていただいて、ここで出会いのチャンスをいただければと思います。新しい世界を見せていただけるようなプログラムをお願いできればと思いますので、次年度もどうぞよろしくお願いいたします。

